

令和7年度 第44回 関東高等学校弓道個人選手権大会 監督会議(書面会議)

1. 入館・受付について

- 〔1〕 13日の自由練習に参加する場合は、都県別に指定された区分の受付時間に入館して受付を行う。14日に初めて来館する場合は、予選の立順で指定されている時間に入館・受付を行う。
- 〔2〕 玄関横の下駄箱は使用できない。下足を入れる袋を各自で準備して管理すること。
- 〔3〕 受付後、歓迎袋のなかにある監督・引率・介添ID、選手ゼッケンを各自すみやかに着装する(ID・ゼッケンは常時着装とする)。

2. 9月13日(土)の大会会場での自由練習について

- 〔1〕 自由練習に参加する場合は大会要項で指定している受付時間と指定区分時間内のみ入館を認める(自由練習の参加は任意)。

1 区分 8:45～10:30〔受付 8:15〕	東京・神奈川	最大参加予定数 64名
2 区分 10:30～12:00〔受付 10:00〕	埼玉・千葉	最大参加予定数 52名
3 区分 12:00～13:30〔受付 11:30〕	茨城・山梨	最大参加予定数 50名
4 区分 13:30～15:00〔受付 13:00〕	群馬・栃木	最大参加予定数 50名

※1区分の練習時間は1時間45分、2～4区分の練習時間は1時間30分。

- 〔2〕 自由練習の方法

- (1) 射場内で、選手はゼッケンを、監督・引率・介添はIDを着装する(ゼッケン・IDはともに受付時に配布)着装していない人は射場に入れない。
- (2) 的は15的。1立4分で行う。
- (3) 射場を選ぶことは出来ない。前から順番に並び、並んだ順番で行射を行う(男女の別なしで行う)。
- (4) 「始め」の合図で一斉に射位に進み、行射を行う。3分30秒で予鈴が鳴るのでこれ以降の取り懸けは行わない。この時点で取り懸けが済んでいない選手は退場する。
- (5) 4分で本鈴が鳴り、矢取りを行う。矢取りは係の者が行う。
- (6) 時間内であれば何本引いてもかまわない。
- (7) 引き終わったら射場の外に出て、矢返しされた矢を回収する。矢返し場所は1階中央ホール奥の階段下付近に矢箱を設置する。
- (8) 練習を継続する場合は再度、順番待ちの列に並ぶ。
- (9) 係の指示に従うこと。

3. 9月14日(日)の競技について

- 〔1〕 競技方法

- (1) 予選での入館・受付、巻藁練習、招集、行射の時間は東京都高体連弓道専門部ホームページに掲載されている別紙「R7 関東個人(立順、入館、招集)」(大会プログラムにも掲載)にもとづき行う。

- (2) 準決勝は男女別で行い、女子から先に行う。

- (3) 決勝の射詰競射は次の方法で実施する。

- 〈1〉 4本目終了時点まで、次のとおりとする。

- ① 女子1本目→男子1本目
- ② 女子2本目→男子2本目
- ③ 女子3本目→男子3本目
- ④ 女子4本目→男子4本目

※4本目までに12人以下になっても、①から④まで連続して競技を行う。

※決勝の招集は、女子・男子をほぼ同時に行い、点呼を進める。

- 〈2〉 4本目終了後、24センチ星的に替え、女子5本目→優勝決定まで行う。

- 〈3〉 女子優勝者決定後、男子5本目→優勝決定まで行う。

- 〈4〉男子優勝者決定後、女子の順位決定遠近競射を行う。
- 〈5〉女子の順位決定後、男子の順位決定遠近競射を行う。
- 〈6〉上記〈4〉〈5〉で同中が多い場合は、競技時間短縮を図るために、人数絞込みの一本競射は行わず、複数の使用した遠近競射を実施する（全弓連の競技規則を参考に6名以上が目安）。

〔2〕監督について

- （1）開催地の東京は出場校の顧問が大会役員を務めるので、生徒の監督代行を認める。
- （2）監督変更届の届出は受付デスクの係役員に提出する（「監督変更届用紙」は東京都高体連弓道専門部ホームページから印刷して使用する）。
- （3）同一校より複数名の選手が参加し監督が同一の場合、同じ立の場合は、立順番号の最も若い監督席に着席する。立が連続している場合は、行射終了後、射場内での監督席の移動を認める。
- （4）残暑が予想されるので上着の着用義務はもうけない。ポロシャツも可とする。
- （5）ストッキングは素足と考える。ソックスを履くこと。

〔3〕競技運営について

- （1）招集場所は1階中央ホール階段下付近（会場玄関脇）。
- （2）予選・準決勝は三人立4射場で行う。行射の制限時間は設けないが、弦音打起しを心掛ける。退場時の掛は省略する。
- （3）矢返しは1階中央ホール奥の階段下付近とする。矢返し場所への行き来は2階奥の階段を使用する。
- （4）弓具審判については弓具点検所を設けず、第3控での実施とする（13日は公式練習でなく自由練習なので弓具点検は実施しない）。2024年発行『必携』の「弓道競技規則」第13条【弓具の規定】、第14条【服装】等の他、【弓道競技申し合わせ事項について】などを守ること。違反している場合には「審判部細案」にもとづいた措置を行う。
- （5）結果速報はインターネットでの速報の配信を行う予定。また更新通知として「X」（旧 Twitter）を連絡用に活用する予定。

X（旧 Twitter）	大会速報サイト
	

4. 観覧について

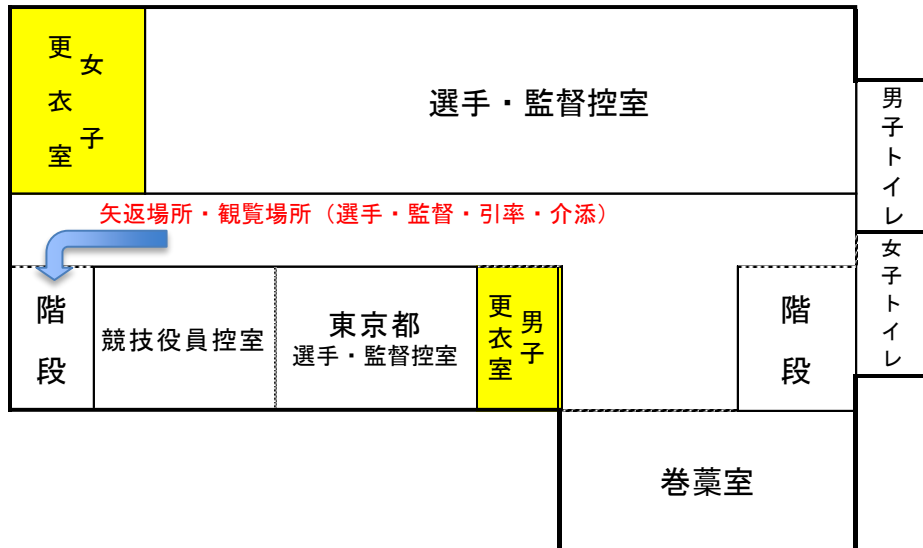
- 〔1〕大会の観覧は、選手の家族・選手・監督・引率・介添に限り認める。ただし、自都県の選手がいる立の観覧を優先する。射場から向かって前方の観覧席は入替制とし、選手の家族を優先とする。選手・監督・引率・介添は混雑時は射場から向かって後方の観覧場所を利用すること。観覧席、観覧場所での拍手や発声などによる応援は可とする。
- 〔2〕射場から向かって後方の観覧場所へは2階から矢返場所を経て行き来する（的中審判や矢返しなど運営業務を滞らせることのないよう注意すること）。
- 〔3〕選手の行射時間は東京都高等学校体育連盟弓道専門部ホームページに掲載されている「R7 関東個人(立順・入館・招集)」を参照すること。
- 〔4〕選手関係者（家族）の観覧については、別途「関東高等学校弓道個人選手権大会選手関係者の観覧方法について」を参照すること（観覧を希望する選手関係者には参加校顧問が出場選手を通して予め共有すること）。

5. その他

- 〔1〕 明治神宮内の駐車場は一切利用できない（参拝者用駐車場の使用は禁止）。
- 〔2〕 大会参加料の領収書は歓迎袋に同封する。
- 〔3〕 13日の自由練習後に選手控室に弓を置いていくことができる（自己責任）。廊下の弓立は使用しない。
- 〔4〕 大会期間、弓具店が来館して弓具修理所を開設する。
- 〔5〕 大会期間、救護室を開設する。
- 〔6〕 大会期間、大会会場玄関付近でプログラムと記念品を販売する。
- 〔7〕 写真販売のため大会期間、業者が選手を撮影する（株アスリート）。後日サンプル写真・パンフレット等が選手所属校宛てに郵送される予定。
- 〔8〕 大会期間、京王観光のツアーデスクが大会会場内に設置される。
- 〔9〕 入賞者の表彰、閉会式は射場で行う。射場に入れるのは入賞した選手と監督のみとする。
- 〔10〕 試合後に選手のゼッケン、監督・引率・介添のIDとフォルダは回収しないので持ち帰る。

明治神宮館内図

(中央道場 2 階)



(中央道場 1 階)

